

家族みんなで楽しめる
それが智光山公園のいいところ
市外からも大勢の人が訪れます



緑と花菖蒲まつりで、ペチュニアの花を無料配布。整理券があったと言う間になくなるほど好評です。

REPORTER'S EYE

【リポーター】

小泉 幸代さん(柏原在住)

リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることがら、市内のいろいろな施設などを、市民のかたがリポートします。



身近で楽しい施設がいっぱい
私もいつも利用しています

狭山市にお住まいのかたなら、智光山公園はご存じですね。その中にあることも動物園や勤労者体育センター、市民総合体育館などはいったい誰が管理しているのでしょうか。今回は智光山公園内のほとんどの施設を管理している施設管理公社にうかがいました。

施設管理公社の仕事は主に2つ、施設の管理と公益事業の推進です。管理・運営しているのは先ほどの施設のほかに勤労福祉センター、智光山荘、レストランのある勤労者野外活動施設、入間川地区にある武道館です。また、公益事業として毎年八景島の水族館などに行ったり、ネイチャーゲームの指導員の養成講座などを開催し、自然環境への理解やコ



市の公園施設管理事務所と共用
(財)狭山市施設管理公社
(柏原561、☎55-4671)

ミュニティの推進などを図っているそうです。中でも大好評なのは歌謡入門教室で、これは市歌を作曲した関口先生を迎えて行なうもので、毎回定員を超える申し込みがあるそうです。

私自身、結婚前は日高市に住んでいましたので、智光山公園は本当の自分の庭のようにいつも来ていました。動物園もアスレチックも子どもには最適な施設ですし、働きはじめからは市内の球技大会などを総合体育館や体育センターで開催したり、研修で勤労福祉センターの会議室を利用したりと、フル活用させていたできました。平成8年度に始まったダイアプランの公共施設の相互利用のおかげで、所沢市・飯能市・入間市の市民は狭山市と同じ条件で智光山公園のほとんどの施設の利用ができます。また、狭山市在学在勤のかたも市民と同じ料金で借りられます。こども動物園には大きな動物園

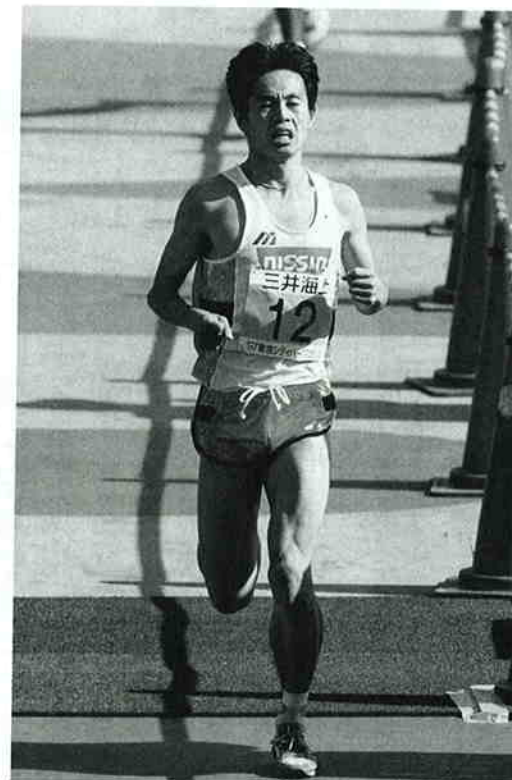


トレーニング室。皆さん自分のペースで汗を流していました。

世界の注目を浴びて走ること
それがオリンピックの快感
あの舞台にもう一度・・・

HITO

実井 謙二郎さん (アトランタ五輪マラソン出場)



今までで一番思い出に残っている試合は何といっても歴代8位の記録を出した'96年の東京国際マラソン。このときは走る前から「これはいいタイムが出るぞ。」と確信があったそうです。(写真は'97年東京シティハーフマラソン。1月25日に開催された今年の東京シティハーフは7位でした)

「もともとスポーツは何でも好きだったんです。小学生のころはマラソン大会でいつも上位だったけど、サッカーもやっていましたし、短距離も好きでした。」と話す実井さんは日本の男子マラソンの歴代8位の記録を持つ実業団選手です。また、大学時代には箱根駅伝に1年生のときから出場し、いきなり1区の区間賞を獲った経歴も持っています。

長距離を選んだ動機を伺うと、「単純なんです。短距離だと一瞬で勝負が終わってしまうんですけど、長距離ならみんなに長い時間注目してもらえないじゃないですか。」とのこと。こんなふうに、ごく自然にこの道に入ったのだそうです。

今は自分の記録を少しでも更新するために一生懸命練習していて、毎日20〜40km市内を走っています。目標は2000年のシドニー五輪「そ



狭山市に引っ越してきて約1年。「緑が多くて、大きな公園もあるし練習には最適です。いいところだと思います。」とお話してくださりました。2月には千葉クロスカントリーに出場します。(市内で練習する実井さん)

のとき僕は31歳。年齢的にも日本代表としての絶頂期だと思います。だから精一杯頑張るつもりです。」とのこと。引退後もマラソンの世界で活動していくのですか、という質問に、もともとスポーツ大好きの実井さんは「マラソンもできるだけ長く続けたいけど、もつと違う、今できないスポーツもやってみたいですね。今、スキーをやりたいんですけど、故障や怪我につながると思っているんです。だから、スキーはやってみてですね。」と答えてくれました。また、そのほかにも国際試合などのときに役立つよう、英会話も勉強したいと話してくださりました。

素晴らしい実力と実績を持ちながら、スキーもサッカーもやりたいとサラッと云つてのける実井さん。狭山市民の注目を浴びてさらに活躍してくださることでしょう。

私の趣味

新舞踊・民謡

斎藤秋太郎さん・よし子さん

(下奥)



私が民謡を始めたのは今から57年前、本格的に師匠について勉強したのは昭和53年からです。とても厳しい流派なので礼儀作法からきちんと教えられ、人間性も磨かれたと思っています。私は毎月第2・4木曜日の午後、寿荘で民謡を教えています。皆さんに強制ではなく、民謡は礼儀作法を重んじるものだということを話しています。毎月このお稽古を楽しみにしているかたが大勢いて、いつも真剣で和気あいあいとした雰囲気なんです。それに稽古に来る人はみんな踊ることに一生懸命だから、人の中傷や噂話などもありません。これがとても素晴らしい人間関係を作っているのです。物事は長く続けることが大切で、続けるためには楽しいことが一番だと思います。民謡は背筋もピンと伸びるし健康にもよいので、これからも夫婦仲良くいろいろな人と関わりあって、楽しく民謡を続けていきたいですね。

にはない、動物と触れ合えるという魅力があります。総合体育館では、毎月トレーニング機器の利用講習会も開かれています。雨の日はランニングもできませんが、こころな天候を気にせずトレーニングができます。智光山荘も低料金で宿泊できるので、親戚が大勢集まる時などに利用する人もいます。また、智光山公園は年に数回、市の大きなイベントの会場となります。施設管理公社では、緑化推進などのためにそのイベントの中で苗木の無料配布などを行なっていて、これも好評だそうです。

皆さんもぜひ、智光山公園を活用して楽しく豊かな休日を通していただきたいと思います。そして施設を利用する際には、施設管理公社で管理しているというのを思い出していただけるとうれいします。